

5対5可否同数委員長 裁決へ原案可決

予算審査特別委員会

期間
(4日間に渡り厳正審査)
3月9日
3月11日
3月16日
3月17日

しんたくの利用状況は

問 しんたくの利用実績は、どうなっていますか。

答 令和8年1月末時点で、申請者数は221人、延べ利用者数は407人、実利用者は75人、助成額は49万2700円です。

防災無線の改善は

問 防災行政無線の設備更新基本設計業務では、どのような内容を想定していますか。

答 屋外スピーカーの在り方や聞き取りにくさの解消も含め、村の地形や季節、天候なども踏まえて、専門業者に基本調査を委託します。

農業用水基金の将来は

問 農業用水の維持管理基金は減少していますが、将来的に枯渇する可能性がありますか。

答 必要に応じて積立や取り崩しを行い、予算の中で適切に管理していきます。

原案に対する当初の討論

反対 新井佐智子議員

ふわふわドームについて、ニーズ調査がされず、維持管理費や今後の見通しについて十分検討されていないと感じたため、費用対効果を考えると再検討が必要と考え、反対します。

賛成 須田 仁美議員

ふわふわドームについて、交付金の活用や公園整備の意義には賛成ですが、現時点で計画が未整備で維持管理費や今後の見通しが十分でないため、修正を前提として賛成します。

※討論は修正案提出前に行われたものです。



ごみステーション対策は

問 自治会未加入者向けごみステーションの関係で計上された、工事請負費44万円は何ですか。

答 自治会未加入者専用ごみステーションを設置する場合に備えた赤外線カメラの設置費用です。マナー向上のためのもので、実際の執行は今後の協議を踏まえて判断します。

図書貸出の準備は

問 しんとびあで、図書を返す、借りる運営やシステム改修の進捗はどうなっていますか。

答 しんとびあにも図書システムのパソコンを設置し、村内の収蔵図書の検索ができます。準備が整い次第、しんとびあで借りたり返したりできるよう、学校とも協議しながら進めています。

ふるさと公園に設置は

問 ふわふわドームをふるさと公園に設置する考えはなかつたのですか。

答 ふるさと公園は、ふるさと館前の広場が比較的広いものの、各種イベントで使われており、そこにふわふわドームを設置すると、多用途に使える広場のスペースがなくなってしまうため新井緑地公園としました。

修正案

発議者 柳岡 利精、宮崎 法文
提案理由 (要約版)

ふわふわドーム事業の見直しを

本事業は特定防衛施設周辺整備交付金を活用するものであるが、新年度予算で突如具体化され、中長期的な整備計画及び維持管理計画が十分に示されていない。

建設規模や維持管理費、更新及び撤去費用等について村民への説明やニーズ調査が十分とは言い難く、計画の整理と説明のうえ再検討し、防衛省との信頼関係を損なうことなく協議を進めるために、本予算の修正を求める。

修正案と原案に対する質疑応答

問 なぜ、ふわふわドームを設置することにしたのですか。

答 村民に十分に聞く時間がない中で、子育て世代の職員の声や聞き、見積りや設置場所の確認を進めた結果、交付金を活用して実施できる事業と判断しました。

口座振替のオンライン化は

問 ウェブでの口座振替申込みを今年度導入する理由は何ですか。

答 これまでは導入費用や月額費用が高かったのですが、金融機関側で費用が抑えられるようになり、導入しやすくなったためです。役場や金融機関の窓口に行かなくても申込みができるようになります。

村民の声の反映は

問 しんとびあ開始後の村民の声を予算にどのように反映しましたか。

答 スクリーンやワイヤレスマイクなどの備品を計上しました。日々の声に、消しゴムクリーナーや荷物置き用のカゴを置くなど対応しています。



荷物置き用のカゴを利用する中学生

問 住民説明や調査、維持管理計画は整っているのですか。

答 現時点ではありませんが、今後、設計業務と並行して検討していきます。近隣住宅への音や利用の影響について調査はしたのですか。

問 現時点では行っていないと。今後、設計業務や他自治体の事例確認の中で考慮していきますか。

答 過去の事故事例や他自治体の対応を参考にしながら、年齢に応じた利用案内や看板、安全帯の設置などを設計に反映する考えです。

問 維持管理費や将来の更新費はどのように見込んでいますか。

答 通常の経常経費として、電気料は月4000円程度、施設点検費用がかかる見込みです。外膜は5〜7年程度で更新が必要になる可能性があり、全体ではおおむね20年程度の利用を想定しています。

問 修正案は、ふわふわドーム事業そのものに反対するものですか。

答 (発議者) 事業そのものを否定するものではなく、いったん立ち止まって、計画や住民説明、周辺環境への配慮などを整理した上で見直す趣旨です。

次ページへ続く



清水委員長による審査報告

問

工事が完成しない場合、繰越ができるのか、返還になるのか伺います。

答

(村) 事業の廃止の場合は、返還義務が生じる可能性があります。加算金等も発生する可能性があります。

問

修正案が通った場合、防衛省との関係への影響をどのように考えていますか。

答

(発議者) 防衛省との信頼関係を損なうことなく、計画性を持って誠実に議論を進めることが重要と考えています。

答

(村) 事業が実施できない場合は、防衛省との信頼関係や今後の交付金への影響が懸念されます。

問

防衛省との信頼関係を保つには、更新費や管理体制、周辺への影響も含め、村が十分な計画を立てて進めるべきではありませんか。

答

(発議者) 住民への説明やニーズ調査は重要であり、防衛省との友好な関係を保つためにも、調査し維持費を含めた計画を立て、村民と話しながら進めるべきです。

答

(村) 住民への説明や安全対策は今後の設計の中で反映していきます。維持管理費や更新費も見込みながら対応していく考えです。

令和8年度榛東村一般会計予算の執行に関する要望書（予算審査特別委員会）

- 一、ふわふわドームの設置に当たっては、設置による周辺環境への影響調査、安全対策・管理体制の整備、地域住民への事前説明などを十分に行い、長期的な展望に立って丁寧に進めること。
- 一、自治会未加入者専用ゴミステーションについて、自治会連合会との合意形成を丁寧に進め、早期の設置を図ること。
- 一、創造の森をはじめ、観光と産業の連携を推進すること。
- 一、単独浄化槽から合併浄化槽への転換を推進すること。
- 一、北小学校の長寿命化計画を進めること。また、冷暖房環境の改善を優先的に検討すること。
- 一、しんとぴあの施設予約のオンライン化を推進すること。
- 一、小中学校としんとぴあをはじめとする村有施設における図書の相互貸借の早期実現に努めること。

榛東村議会